

冬の星空

～ 星団編 ～

冬見ることの出来る星団は、非常に見ごたえのあるものがたくさんあります。その中から3つ紹介します。

M45・プレアデス星団(すばる)

おうし座の背中にある星の集まり・星団です。昔から知られた星団で、清少納言の「枕草子」には、「星はすばる・・・」と書かれています。「すばる」には「結ぶ」や「集まる」といった意味があります。すばるは若い星の集まりで、年齢は約1億歳です。望遠鏡で見ると、空の状態が良ければ青いガスを見ることが出来ます。肉眼では5、6個見ることが出来ます。視力の良い人では、10個以上見える人もいます。何個見えるのか、挑戦してみてください。望遠鏡で見るときは、低い倍率でみてください。



M45・プレアデス星団(すばる)

M37(ぎょしゃ座・散開星団)



M37(散開星団)

ぎょしゃ座にある散開星団です。散開星団とは、数十から数百個ほどの星がまばらに不規則に集まっている集団です。ぎょしゃ座にはM36、M37、M38と3つの散開星団があります。M37はぎょしゃ座の五角形の外側にあり、3つの星団の中でいちばん見ごたえがあります。街明かりや月明かりがなければ、肉眼でも見ることが出来ます。また、5cm7倍の双眼鏡では3つの星団を同一視野に見ることが出来ます。

M41(おおいぬ座・散開星団)



M41(散開星団)

おおいぬ座のシリウスの下(南)にある、明るく美しい散開星団です。街明かりや月明かりがなければ、雲のようなボートしたものが肉眼で見ることが出来ます。また、5cm7倍の双眼鏡では、シリウスと同一視野に見ることが出来ます。この星団は、1654年以前から「シリウスの近くの星雲」として知られていましたが、1704年にイギリスの天文学者フラムスチードによって星団と確認されました。

イベント情報 ～ 宇宙ふしぎ探検 ～

日にち	イベント	場所	人数	その他
2月25日(土) 18:30～19:30	宇宙ふしぎ探検 「冬の星座を観察しよう」	鳥取市 こども科学館	25人	雨天曇天の場合は室内 でお話などを行います

参加費は無料です。要予約(鳥取市さじアストロパークへご連絡ください)